

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2007-15260(P2007-15260A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2005-200145(P2005-200145)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月23日(2010.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に色材を付与する記録素子が複数配列して構成される記録素子列を、前記記録媒体に相対的に移動走査させることにより所定の記録解像度で画像を形成する記録装置であって、

前記所定の記録解像度と等しい精度で前記記録媒体におけるドットの記録位置を補正する第1補正手段と、

前記所定の記録解像度よりも高い精度で前記記録媒体における記録位置を前記所定の記録解像度の1画素に対応する領域の範囲内で補正する第2補正手段とを具備することを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記記録位置の補正量を取得する手段と、

該補正量を前記第1の補正手段と前記第2の補正手段とに振り分ける手段とを更に具備することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記第1の補正手段は、メモリに格納される画像データに対するオフセットをかけることにより、前記記録媒体における記録位置を補正することを特徴とする請求項1または2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記第2の補正手段は、前記1画素に対応する領域の範囲内で、前記記録素子から前記記録媒体に色材を付与するタイミングを調整する手段を備えていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の記録装置。

【請求項5】

前記タイミング調整手段は、前記1画素に対応する領域をN(Nは2以上の整数)分割して形成された複数の分割領域のうち、1つを選択することによって前記記録媒体に色材を付与するタイミングを調整することを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

【請求項6】

前記記録素子列に配列する複数の記録素子は、該記録素子の配列方向において複数の記録素子群に分割されており、前記第1の補正手段および前記第2の補正手段の少なくとも一方は、個々の前記記録素子群によって記録されるドットの位置を補正するための最小単

位とすることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の記録装置。

【請求項 7】

前記記録媒体の同一の領域に対して前記記録素子列を相対的に移動走査する複数回の記録走査と、前記記録素子群に含まれる複数の記録素子の配列方向における距離に相当する量だけ、前記記録媒体を搬送する搬送動作とを間欠的に繰り返すことによって画像を形成することを特徴とする請求項 6 に記載の記録装置。

【請求項 8】

異なる色材を付与する複数の前記記録素子列を用いて前記記録媒体に画像を形成することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の記録装置。

【請求項 9】

複数の前記記録素子列のうち、所定の色材を付与する記録素子列が形成する画像の記録位置に対してのみ、前記第 1 補正手段および前記第 2 の補正手段による補正を施すことを特徴とする請求項 8 に記載の記録装置。

【請求項 10】

記録媒体の種類、記録モード、および記録位置のずれの程度によって、前記第 1 補正手段および前記第 2 の補正手段のそれぞれの補正の実施あるいは非実施のいずれかを設定することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の記録装置。

【請求項 11】

記録媒体に色材を付与する記録素子が複数配列して構成される記録素子列を、前記記録媒体に相対的に移動走査させることにより所定の記録解像度で画像を形成する記録装置の記録位置制御方法であって、

前記所定の記録解像度と等しい精度で前記記録媒体におけるドットの記録位置を補正する第 1 補正工程と、

前記所定の記録解像度よりも高い精度で前記記録媒体における記録位置を前記所定の記録解像度の 1 画素に対応する領域の範囲内で補正する第 2 補正工程とを有することを特徴とする記録位置制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

そのために本発明においては、記録媒体に色材を付与する記録素子が複数配列して構成される記録素子列を、前記記録媒体に相対的に移動走査させることにより所定の記録解像度で画像を形成する記録装置であって、前記所定の記録解像度と等しい精度で前記記録媒体におけるドットの記録位置を補正する第 1 補正手段と、前記所定の記録解像度よりも高い精度で前記記録媒体における記録位置を前記所定の記録解像度の 1 画素に対応する領域の範囲内で補正する第 2 補正手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、記録媒体に色材を付与する記録素子が複数配列して構成される記録素子列を、前記記録媒体に相対的に移動走査させることにより所定の記録解像度で画像を形成する記録装置の記録位置制御方法であって、前記所定の記録解像度と等しい精度で前記記録媒体におけるドットの記録位置を補正する第 1 補正工程と、前記所定の記録解像度よりも高い精度で前記記録媒体における記録位置を前記所定の記録解像度の 1 画素に対応する領域の範囲内で補正する第 2 補正工程と

を有することを特徴とする。